

調査報告書

[2023年版 インクジェット印刷マーケット総覧]

『ものづくりのスマート化を 切り拓くインクジェット業界 の最新市場動向』

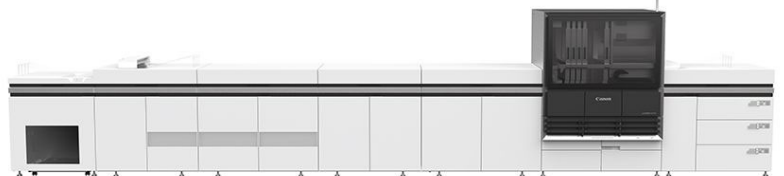
=商業・産業分野のインクジェット市場（ハード、インク、ヘッド）の総合分析=



HPのBinderJet方式金属3Dプリンタ「HP Metal Jet S100ソリューション」



エプソン初の12色対応デジタル捺染機
「Monna Lisa ML-24000」



キヤノン製サーマルヘッド搭載のB3枚葉機
「varioPRINT iX1700」

2023年10月



日・中・米・欧の市場調査
株式会社 データ・サプライ

〈調査概要〉

I. 調査テーマ

[2023年版 インクジェット印刷マーケット総覧]

『ものづくりのスマート化を切り拓くインクジェット業界の最新市場動向』

=商業・産業分野のインクジェット市場（ハード、インク、ヘッド）の総合分析=

II. 調査主旨

弊社の既刊レポートでこれまで報告してきた通り、インクジェット技術の対象市場は屋内外の広告印刷や商業印刷・パッケージ印刷などの紙プリントの市場からテキスタイルやセラミックタイル・建材など紙以外への印刷分野、ディスプレイやプリント基板、太陽電池のパターン形成、さらにはバイオ分野に至るまで多岐に渡っている。

市場別にみると、産業用インクジェットの最大アプリケーションの一つである屋外サイン市場では中国向け需要が市場全体の7割を占めており、中国の景気動向や環境規制などの強い影響を受けており、2022年以降の同市場は低空飛行が続いている。これに対して、テキスタイル市場や商業印刷・パッケージ印刷はコロナ禍でもインクジェット化の進展した市場と位置付けられているほか、ディスプレイやプリント基板などの工業用途向けも今後の成長が有望視される領域とされており、商業・産業インクジェット全体としても今後の力強い成長が期待されている。

インクジェット技術によるアナログからデジタルへの転換は、ものづくりのIoT化・スマート化やAI活用の潮流とリンクするだけでなく、大量生産・大量消費・大量廃棄型の産業システムから脱却し、持続可能な循環型社会を目指すという現代の社会的価値観にも合致する。そして、産業用インクジェット業界はヘッドメーカーやインクメーカーといった大企業だけでなく、各アプリケーションではインクジェットに関する知見やノウハウを外部に供給する中小のインテグレーター企業も多数存在しており、世界中の様々な企業によるイノベーション創出が期待できる。

「2023年版インクジェット印刷マーケット総覧」は、シリーズ第7回目の刊行となります。今回のレポートでも、サイン&グラフィック、テキスタイル、トランザクション、商業印刷、ラベル&パッケージ、マーキング&コーディング、セラミックタイル&建材、3Dプリンティングなど各市場の将来性について、一般的な見方にとらわれることなく、専門的・客観的見地から調査・分析を実施しました。今回のレポートが業界発展の一助になることを望みます。

Ⅲ. 調査対象品目及び調査対象先

1. 調査対象市場

グラフィック市場	フォト、プルーフ、ポスター印刷用の大判プリンタ（A2以上）及び当該プリンタ向けのインクの販売を中心とする市場
テクニカル市場	CAD及びGIS（地理情報システム）印刷用の大判プリンタ（A2以上）及び当該プリンタ向けのインクの販売を中心とする市場
サイン市場	主に屋外大型看板用の大判プリンタ及び当該プリンタ向けのインクの販売を中心とする市場を指すが、同市場から派生したフラットベッドUVプリンタや、大判ラテックスプリンタの市場も含む
テキスタイル市場	布地に直接印刷する直接捺染機、転写紙を使う昇華転写プリンタ、Tシャツプリント用のDTG（Direct to Garment）プリンタ、DTF（Direct to Film）プリンタなどの本体販売とインクの販売を中心とする市場
トランザクション市場	主にカードの請求書・明細書など高速大量可変の情報処理分野の印刷市場を指す。また顧客情報に基づくDM印刷なども同市場に含む
商業印刷市場	一般的には主にカタログ、チラシなど企業の販促物の印刷が中心であるが、本レポートでは書籍・雑誌などの出版印刷も市場対象とする
ラベル市場	一般消費者向け製品に貼付される粘着ラベル向けプリンタの本体販売とインクの販売を中心とする市場。本レポートでは本体価格1,000万円以上の印刷機器のみを対象とし、デスクトップ型の小型機は除外
パッケージ市場	美粧段ボール、紙器、軟包装印刷用の大型プリンタ及びインクの販売を中心とする市場
マーキング&コーディング市場	段ボールや紙器、アルミ缶などに商品情報（生産日付/生産地/バーコード）を印刷するプリンタ及び当該プリンタ向けのインク販売を中心とする市場
セラミック印刷市場	タイルを中心としたセラミック製品印刷用途のハードウェアとインクの販売を中心とする市場
建材印刷市場	壁紙及び外壁などの室内外の建材印刷用途のハードウェアとインクの販売を中心とする市場
その他市場	3Dプリンタ市場、ディスプレイ、太陽電池、回路基板など

2. 調査対象先

- 1) ハードメーカー（国内外100社以上）
- 2) ヘッドメーカー（国内外18社）
- 3) インク・分散体メーカー（国内外150社以上）
- 4) その他（インテグレーター、部品メーカーなど）

Ⅳ. 調査範囲及び調査方法

1. 調査範囲：調査対象範囲は、2020年～2026年とする。また、対象範囲は日本、北米、欧州、中国、その他地域とする。
2. 調査方法：1) 取材対象メーカーへの直接訪問面接調査を原則とする。
2) 公開されている文献、資料、統計等の分析及び調査
3) 弊社に蓄積されているデータの活用

Ⅴ. 調査形態、調査期間、他

1. 調査形態：本調査はマルチクライアント方式による調査である。
2. 調査期間：2023年8月～10月
3. 調査報告刊行日：2023年10月27日
4. 提出報告書：PDF ※製本版は別途費用（税別20,000円）をいただきます。
5. 1社当りの参加費用：日本文版 …… ¥500,000-（消費税別）
（英文版 …… \$5,000-）
6. 調査担当：山本 幸男／吉田 晃介／針生 正史
（TEL：03-3831-9201、FAX：03-3831-9204、ホームページ：<http://www.datasupply.jp/>
E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp）

《目次》

A. 分析編

1. 産業用・商業用インクジェットの全体出荷金額動向 (2020年～2026年)	1
1) 全体 (ハードウェア、インク、その他)	1
(1) 日本円ベース (2) 米ドルベース	
2) 市場分野別の出荷金額 (2020年～2026年)	3
(1) 日本円ベース (2) 米ドルベース	
2. 印刷市場におけるデジタルVSアナログ	5
1) 生産技術の比較 2) 各市場におけるデジタル化率とインクジェット化率 3) 各市場における地域別需要率	
3. IJメーカー別産業用・商業用インクジェット事業売上高シェア (2021年/2022年)	8
4. ハードウェアの市場別出荷動向 (2020年～2026年)	9
1) 出荷台数 2) 出荷金額	
5. インク市場の全体概要	11
5-1. 市場別出荷動向 (2020年～2026年) : 1) 出荷量 2) 出荷金額	
5-2. インクの種類別出荷動向 (2020年～2026年) : 1) 出荷量 2) 出荷金額	
5-3. インクのブランド別出荷量シェア (2022年)	
5-4. インク技術の動向 : 1) インクの市場分野と要素技術 2) インクの重要技術 3) 市場別のインク技術	
5-5. インクの主要原材料 : 1) 色材 (顔料/染料) 2) 樹脂 3) 有機溶剤 4) 分散剤 5) 界面活性剤 (表面調整剤)	
6) UVモノマー 7) 光重合開始剤 8) 重合禁止剤 (安定剤) 9) 水性インク用防菌防カビ剤	
5-6. 市場別インク価格動向	
6. ヘッド市場の全体概要	28
6-1. 出荷金額推移 (2020年～2026年) 6-2. 市場別ヘッドの採用動向	
6-3. インクジェットヘッドの技術動向 : 1) ヘッド技術の概説 2) インク循環技術 3) MEMS技術	
7. 産業用インクジェット市場における主な買収	32
1) 2002年～2010年 2) 2011年～2020年 3) 2021年以降	
8. 産業用インクジェットに関する規制及び安全規格	37
1) 化学物質規制 2) 基材の国際規格及び安全基準	

B. 市場編

B-1. グラフィック&テクニカル市場	43
1. 全体出荷金額 (ハードウェア&インク、2020年～2026年)	43
1) 日本円ベース 2) 米ドルベース	
2. 市場概要 (デジタル化率とインクジェット化率)	45
1) グラフィック市場 2) テクニカル市場	
3. 地域別需要比率 (2022年)	46
4. IJメーカー別グラフィック&テクニカル事業売上高シェア (2022年)	47
5. ハードウェアの用途別出荷動向 (グラフィック/テクニカル、2020年～2026年)	48
1) 出荷台数 2) 出荷金額 3) メーカー別出荷台数シェア (2022年) : (1) 全体 (2) グラフィック市場 (3) テクニカル市場	
6. インクの種類別出荷動向 (水性顔料/水性染料、2020年～2026年)	53
1) 出荷量 2) 出荷金額 3) メーカー別インク出荷数量シェア (2022年) 4) インクの技術動向 5) インクの価格動向	
7. ヘッドの採用動向	58
8. 主要メーカーの概要	58
1) 日本メーカー : エプソン/キヤノン/リコー/武藤工業 2) 欧米メーカー : HP 3) 中国メーカー	
9. 各社の主要機種一覧 (5社)	60
B-2. サイン市場	62
1. 全体出荷金額 (ハードウェア&インク、2020年～2026年)	62
1) 日本円ベース 2) 米ドルベース	
2. 市場概要 (デジタル化率とインクジェット化率)	64
3. 地域別需要比率 (2022年)	65
4. IJメーカー別サイン事業売上高シェア (2022年)	66
5. ハードウェアの種類別出荷動向 (溶剤/UV/ラテックス、2020年～2026年)	67
1) 出荷台数 2) 出荷金額 3) メーカー別出荷台数シェア (2022年) : (1) 全体 (2) ハイエンド市場 (3) ローエンド～ミッドレンジ	
6. インクの種類別出荷動向 (ハードソルベント/エコソルベント/UV/ラテックス、2020年～2026年)	70
1) 出荷量 2) 出荷金額 3) メーカー別インク出荷数量シェア (2022年) 4) インクの技術動向 5) インクの価格動向	
7. ヘッドの採用動向	76
8. 主要メーカーの概要	77
1) 日本メーカー : ミマキエンジニアリング/ローランド ディー. ジー/キヤノン (旧オセ) /エプソン/武藤工業/リコー/富士フイルム	
2) 欧米メーカー : HP/EFI/Agfa-Gevaert/Durst	
3) 中国メーカー : Beijing JHF Technology/Fei Yeung Union/Gongzheng Group/Guangzhou Xucheng Electronic Technology (XULI)/Human Digital Technology (Shanghai)/Nanjing Fortune-lit Digital Technology Industry/Shanghai ALLWIN Digital Technology/Shanghai Teckwin Technology Development/Shanghai Wit-Color Digital Science & Technology/Shenzhen HANDTOP Tech/Shenzhen Runtianzhi Digital Equipment (FLORA)/Sky Air-ship Digital Printing Equipment/Zhengzhou New Century Digital Print Technology	
9. 各社の主要機種一覧 (88社)	80
B-3. テキスタイル市場	93
1. 全体出荷金額 (ハードウェア&インク、2020年～2026年)	93
1) 日本円ベース 2) 米ドルベース	
2. 市場概要 (デジタル化率とインクジェット化率)	95
3. 地域別需要比率 (2022年)	96
4. IJメーカー別テキスタイル事業売上高シェア (2022年)	97
5. ハードウェアの種類別出荷動向 (大型捺染機/中小型捺染機/DTG/DTF、2020年～2026年)	98
5-1. 全体 : 1) 出荷台数 2) 出荷金額 3) メーカー別シェア (2022年) : (1) 大型捺染機 (直接捺染/昇華転写) の出荷台数シェア (2) 中小型捺染機 (昇華転写) の出荷台数シェア	100
5-2. DTG/DTF の出荷動向	101
1) 出荷台数 2) 出荷金額 3) メーカー別出荷台数シェア (2022年) : ①DTG (大量生産用) ②DTG (デスクトップ)	
4) DTFプリンタの市場における位置付け	
6. インクの種類別出荷動向 (2020年～2026年)	105
6-1. ハードウェア種類別のインク出荷動向 : 1) 出荷量 2) 出荷金額	
6-2. インクの種類別出荷動向 (水性顔料/水性染料) : 1) 出荷量 2) 出荷金額 3) メーカー別インク出荷量シェア (2022年) : ①大型捺染機用インク ②中小型捺染機用インク 4) インクの技術動向 5) インクの価格動向	
7. ヘッドの採用動向	113
8. 主要メーカーの概要	114
8-1. デジタル捺染機の主要メーカー	114
1) 日本メーカー : コニカミノルタ/エプソン (Robustelli) /ミマキエンジニアリング (La Meccanica) /東伸工業/セーレン	
2) 欧米メーカー : MS Printing Solutions (Doverグループ) /Reggiani (EFI) /Aleph/Durst	
3) 中国メーカー : Atexco/HOMER/Hopetech/その他	
8-2. 昇華転写プリンタの主要メーカー	116
1) 日本メーカー : エプソン/ミマキエンジニアリング/その他	
2) 中国メーカー : Human Digital Technology (Shanghai) /Shanghai ALLWIN Digital Technology	
8-3. DTGプリンタの主要メーカー	116
1) 日本メーカー : エプソン/ブラザー工業/リコー	
2) 欧米メーカー : Kornit Digital/その他	
3) 中国メーカー : CNTOP/Nocai	
8-4. DTFプリンタの主要メーカー (日本メーカーのみ)	117
ミマキエンジニアリング/ローランド ディー. ジー. /リコー/理想科学/イメージ・マジック/バイオテック/セルカム/ユーロポット/アステム	
9. 各社の主要機種一覧 (52社)	119
9-1. デジタル捺染機/昇華転写プリンタ (32社) 9-2. DTG (20社)	

B-4. トランザクション市場	1 2 3
1. 全体出荷金額 (ハードウェア&インク、2020年~2026年)	1 2 3
1) 日本円ベース 2) 米ドルベース	
2. 市場概要 (デジタル化率とインクジェット化率)	1 2 5
3. 地域別需要比率 (2022年)	1 2 6
4. IJ メーカー別トランザクション事業売上高シェア (2022年)	1 2 7
5. ハードウェアのサイズ別出荷動向 (2020年~2026年)	1 2 8
1) 出荷台数 2) 出荷金額 3) メーカー別出荷台数シェア (2022年) : (1) 連帳機 (2) A3 枚葉機	
6. インクの種類別出荷動向 (水性顔料/水性染料、2020年~2026年)	1 3 1
1) 出荷量 2) 出荷金額 3) メーカー別インク出荷数量シェア (2022年) 4) インクの技術動向 5) インクの価格動向	
7. ヘッドの採用動向	1 3 4
8. 主要メーカーの概要	1 3 5
1) 日本メーカー: キヤノン (旧オセ) / リコー / スクリーン / ミヤコシ / 京セラ / その他	
2) 欧米メーカー: HP / Kodak / Xerox / BlueCrest	
3) 中国メーカー: Founder Electronics / Inkj Digital / Spande / その他	
9. 各社の主要機種一覧 (15社)	1 3 7
B-5. 商業印刷市場	1 3 8
1. 全体出荷金額 (ハードウェア&インク、2020年~2026年)	1 3 8
1) 日本円ベース 2) 米ドルベース	
2. 市場概要 (デジタル化率とインクジェット化率)	1 4 0
3. 地域別需要比率 (2022年)	1 4 1
4. IJ メーカー別商業印刷事業売上高シェア (2022年)	1 4 2
5. ハードウェアの種類別出荷動向 (連帳機/枚葉機、2020年~2026年)	1 4 3
1) サイズ別出荷台数 2) サイズ別出荷金額 3) メーカー別出荷台数シェア (2022年) : (1) 連帳機 (2) 枚葉機	
6. インクの種類別出荷動向 (水性顔料/UV、2020年~2026年)	1 4 7
1) 出荷量 2) 出荷金額 3) メーカー別インク出荷数量シェア (2022年) 4) インクの技術動向 5) インクの価格動向	
7. ヘッドの採用動向	1 5 1
8. 主要メーカーの概要	1 5 1
1) 日本メーカー: キヤノン (旧オセ) / 富士フイルム / コニカミノルタ / スクリーン / リコー / その他	
2) 欧米メーカー: HP / Kodak / Landa	
3) 中国メーカー: Founder Electronics / Inkj Digital / HanGlobal / Kaiwei / SHIELD / Spande	
9. 各社の主要機種一覧 (18社)	1 5 3
B-6. ラベル&パッケージ市場	1 5 5
1. 全体出荷金額 (ハードウェア&インク、2020年~2026年)	1 5 5
1) 日本円ベース 2) 米ドルベース	
2. 市場概要 (デジタル化率とインクジェット化率)	1 5 7
1) ラベル市場 2) 段ボール市場 3) 軟包装市場	
3. 地域別需要比率 (2022年)	1 6 0
4. IJ メーカー別ラベル&パッケージ印刷事業売上高シェア (2022年)	1 6 1
5. ハードウェアの用途別出荷動向 (ラベル/段ボール/紙器/軟包装、2020年~2026年)	1 6 4
1) 出荷台数 2) 出荷金額 3) メーカー別出荷台数シェア (2022年) : (1) ラベル市場 (2) パッケージ市場 : (2) - 1. 段ボール (2) - 2. 紙器 (2) - 3. 軟包装	
6. インクの用途別種類別出荷動向	1 6 8
1) 用途別出荷動向 (ラベル/段ボール/紙器/軟包装、2020年~2026年) : (1) 出荷量 (2) 出荷金額	
2) インクの種類別出荷動向 (水性顔料/水性染料/UV、2020年~2026年) : (1) 出荷量 (2) 出荷金額	
3) メーカー別インク出荷数量シェア (2022年) 4) インクの技術動向 : (1) ラベル印刷 (2) 段ボール・紙器印刷 (3) 軟包装印刷	
5) インクの価格動向	
7. ヘッドの採用動向	1 7 5
ラベル印刷 / 段ボール印刷 / 紙器印刷 / 軟包装印刷	
8. 主要メーカーの概要	1 7 6
8-1. ラベル印刷機の主要メーカー	1 7 6
1) 日本メーカー: エプソン / ブラザー (ドミノ) / スクリーン / キヤノン (旧オセ) / 岩崎通信機	
2) 欧米メーカー: Durst / Xeikon / その他 3) 中国メーカー: HanGlobal / その他	
8-2. パッケージ印刷機の主要メーカー	1 7 7
8-2-1. 段ボール	1 7 7
1) 日本メーカー: コニカミノルタ 2) 欧米メーカー: HP / Barberán / EFI / Durst / Xeikon / その他	
3) 中国メーカー: HANWAY (HanGlory Group) / Wonderjet	
8-2-2. 紙器	1 7 8
1) 日本メーカー: 小森コーポレーション 2) 欧米メーカー: Landa / MGI Digital Technology / Koenig & Bauer Durst	
8-2-3. 軟包装	1 7 9
1) 日本メーカー: 富士フイルム / ミヤコシ / スクリーン / シンク・ラボラトリー / トライトック 2) 欧米メーカー: Landa / UTECO	
9. 各社の主要機種一覧 (59社)	1 8 0
1) ラベル (35社) 2) パッケージ (24社) : 2) - 1. 段ボール (14社) 2) - 2. 紙器 (3社) 2) - 3. 軟包装 (7社)	
B-7. マーキング&コーディング市場	1 8 4
1. 全体出荷金額 (ハードウェア&インク、2020年~2026年)	1 8 4
1) 日本円ベース 2) 米ドルベース	
2. 市場概要 (デジタル化率とインクジェット化率)	1 8 6
3. 地域別需要比率 (2022年)	1 8 7
4. IJ メーカー別マーキング&コーディング事業売上高シェア (2022年)	1 8 8
5. ハードウェアの種類別出荷動向 (CIJ/DOD、2020年~2026年)	1 8 9
1) 出荷台数 2) 出荷金額 3) メーカー別出荷台数シェア (2022年)	
6. インクの種類別出荷動向 (水性/溶剤/UV、2020年~2026年)	1 9 2
1) 出荷量 2) 出荷金額 3) メーカー別インク出荷数量シェア (2022年) 4) インクの技術動向 5) インクの価格動向	
7. ヘッドの採用動向	1 9 7
8. 主要メーカーの概要	1 9 8
1) 日本メーカー: ブラザー (ドミノ) / 日立産機システム / 紀州技研工業 / キーエンス	
2) 欧米メーカー: Danaher (Videojet) / Dover (Markem-Imaje) / その他	
9. 各社の主要機種一覧 (6社)	1 9 9
B-8. セラミックタイル&建材市場	2 0 1
1. 全体出荷金額 (ハードウェア&インク、2020年~2026年)	2 0 1
1) 日本円ベース 2) 米ドルベース	
2. 市場概要 (デジタル化率とインクジェット化率)	2 0 3
1) セラミックタイル印刷 2) 建材印刷	
3. 地域別需要比率 (2022年)	2 0 5
4. IJ メーカー別セラミックタイル&建材事業売上高シェア (2022年)	2 0 6
5. ハードウェアの用途別出荷動向 (セラミックタイル/建材、2020年~2026年)	2 0 7
1) 出荷台数 2) 出荷金額 3) メーカー別出荷台数シェア (2022年)	
6. インクの種類別出荷動向 (油性/UV、2020年~2026年)	2 1 0
1) 出荷量 2) 出荷金額 3) メーカー別インク出荷数量シェア (2022年) 4) インクの技術動向 5) インクの価格動向	
7. ヘッドの採用動向	2 1 3
8. 主要メーカーの概要	2 1 4
1) 日本メーカー: リコー 2) 欧米メーカー: Sacmi / Durst / KERAjet / EFI Cretaprint / System Ceramics / SITI-B&T / Tecno Ferrari	
3) 中国メーカー: Foshan Meijia Ceramic Equipment / Hope Ceramics Machinery Equipment / Keda Clean Energy / Shanghai Teckwin y Development / Shenzhen Runtianzhi Digital Equipment (FLORA)	
9. 各社の主要機種一覧 (18社)	2 1 6
9-1. セラミック・タイル (13社) 9-2. 建材 (5社)	

B-9. 3Dプリンティング市場	218
1. 全体出荷金額（ハードウェア&材料、2020年～2026年）	218
1) 日本円ベース 2) 米ドルベース	
2. 市場概要（デジタル化率とインクジェット化率）	220
3. 地域別需要比率（2022年）	221
4. IJメーカー別3Dプリンティング事業売上高シェア（2022年）	222
5. ハードウェアの用途別出荷動向（2020年～2026年）	223
1) 出荷台数 2) 出荷金額	
3) メーカー別出荷台数シェア（2022年）	225
6. ヘッドの採用動向	226
7. 主要メーカーの概要	226
1) 日本メーカー：キーンエンス/ミマキ/シーメット	
2) 欧米メーカー：Stratasys/3D Systems/HP/Desktop Metal/Voxeljet AG/Digital Metal/Xjet	
3) 中国・台湾メーカー：ALPHA/AMSKY/EasyMFG/FHZL/KOCEL/Laseradd/Longyuan AFS/Sailner/XYZPrinting	
8. 各社の主要機種一覧（19社）	229
B-10. 工業用途・その他市場	231
1. ディスプレイ	231
インクジェット方式による有機EL装置メーカー（主要3社）：AIメカテック/東京エレクトロン/カティエバ（Kateeva）	
2. 太陽電池	236
1) 太陽電池の種類と生産量 2) ペロブスカイト太陽電池	
3. 電子回路基板	240
1) 日本メーカー（6社）：石井表記/キヤノン/芝浦メカトロニクス/東レエンジニアリング/マイクロクラフト/SIJテクノロジーズ	
2) 海外メーカー（9社）：Ceramdrop/MicroFab Technologies/M-Solv/Nano Dimension/Notion Systems/Orbotech/PV Nano Cell/Schmid Group/SUSS Micro Tec	
4. リチウムイオン二次電池	244
5. バイオ	244
6. 偽造防止	245
7. 食品	245
8. ネイル	246
9. 医療	247
C. インクジェットヘッド市場編	
1. 全体	249
1) ヘッド方式別出荷金額の推移（2020年～2026年）：（1）日本円ベース （2）米ドルベース	
2) 市場別出荷金額の推移（2020年～2026年）	
2. メーカー別出荷金額の推移（2020年～2026年）	252
1) ビエゾヘッド 2) サーマルヘッド	
3. 総出荷金額の市場別内訳（2022年）	254
1) ビエゾヘッド 2) サーマルヘッド	
4. 市場別メーカーシェア（2022年）	256
1) サイン市場 2) テキスタイル市場 3) トランザクション市場 4) 商業印刷市場 5) ラベル&パッケージ市場	
6) マーケティング&コーディング市場 7) セラミックタイル&建材市場 8) その他	
5. 各社の概要	260
[1] セイコーエプソン [2] Fujifilm Dimatix [3] リコー [4] 京セラ [5] コニカミノルタ [6] エスアイアイ・プリンテック	
[7] Xaar [8] 東芝テック [9] HP [10] 船井電機 [11] その他のメーカー：ブラザー工業/Xerox/Kodak/Memjet/	
苏州锐发打印技术有限公司（REALFAST-PRINTING）/ 爱司凯科技股份有限公司（AMSKY）/ 北京奥托米特电子有限公司（Aotometer）/ 國際聯合科技股份有限公司（IUT）	
6. 産業インクジェット用ヘッドのメーカー別製品一覧（11社）	272
D. 関連市場編（ホーム&オフィス用インクジェットプリンタ市場）	
1. ホーム&オフィス用別の本体出荷台数/出荷金額（2020年～2026年）	275
2. メーカーシェア（2022年）	276
3. インク出荷動向（2022年）	277
E. メーカー個票編	
E-1. 主要メーカー16社の事業概要	279
[1] HP/[2] キヤノン/[3] セイコーエプソン/[4] ダナハー（Danaher）/[5] ドーバー（Dover）/[6] 富士フイルム/[7] ブラザー工業/[8] ミマキエンジニアリング/[9] EFI/[10] リコー/[11] ダーセント（Durst）/[12] アグファ・ゲバルト（Agfa-Gevaert）/[13] ローランド ディー・ジー/[14] コニカミノルタ/[15] コーニット（Kornit）/[16] スクリーン	
E-2. 各社の会社概要（125社）	328
E-2-1. 日本メーカー（31社/50音順）	328
[1] 岩崎通信機/[2] エスアイアイ・プリンテック/[3] 花王/[4] キーンエンス/[5] 紀州技研工業/[6] キヤノン/[7] 京セラ/[8] コニカミノルタ/[9] 小森コーポレーション/[10] サカタインクス/[11] シーティーシージャパン/[12] シーメット/[13] 島精機製作所/[14] シンク・ラボラトリー/[15] SCREEN グラフィックソリューションズ/[16] セイコーエプソン/[17] セーレン/[18] DIC/[19] デュプロ/[20] 東芝テック/[21] 東伸工業/[22] 東京機械製作所/[23] トーヨーカラー/[24] トライテック/[25] 日立産機システム/[26] 富士フイルム/[27] ミマキエンジニアリング/[28] ミヤコシ/[29] 武藤工業/[30] リコー/[31] ローランドディー・ジー	
E-2-2. 海外メーカー（アルファベット順）	344
①北米（19社）	
[1] 3D Systems（米国）/[2] BlueCrest（米国）/[3] Buskro（カナダ）/[4] Colordyne Technologies（米国）/[5] Danaher（米国）/[6] Desktop Metal（米国）/[7] Dover（米国）/[8] Eastman Kodak（米国）/[9] EFI（米国）/[10] ExOne（米国）/[11] FUJIFILM Dimatix（米国）/[12] Graphic Solid Inks（米国）/[13] HP（米国）/[14] Mark Andy（米国）/[15] Stratasys（米国）/[16] SUN Automation（米国）/[17] Videojet Technologies（米国）/[18] VIPColor（米国）/[19] Xerox（米国）	
②欧州（47社）	
[1] Aeoon（オーストリア）/[2] Agfa-Gevaert N.V.（ベルギー）/[3] Aleph（イタリア）/[4] Arioli（イタリア）/[5] Axzyra（英国）/[6] Azonprinter（クロアチア）/[7] Barberán（スペイン）/[8] BHS（ドイツ）/[9] Bobst（スイス）/[10] Digital Metal（スウェーデン）/[11] Domino（英国）/[12] Durst（イタリア）/[13] Engico（イタリア）/[14] FUJIFILM Specialty Ink Systems（英国）/[15] Gallus（スイス）/[16] Hapa（スイス）/[17] Hollanders Printing Systems（オランダ）/[18] Inca（英国）/[19] IN2 Printing Solutions（スペイン）/[20] JETRON（トルコ）/[21] KERAjet（スペイン）/[22] Koenig & Bauer（ドイツ）/[23] Kornit Digital（イスラエル）/[24] La Meccanica（イタリア）/[25] Landa（イスラエル）/[26] Macarbox（スペイン）/[27] Markem-Imaje AG（スイス）/[28] MAS S.r.l.（イタリア）/[29] Matan Digital Printers（イスラエル）/[30] Mouvent（スイス）/[31] MPRINT（ドイツ）/[32] MS Printing Solutions（イタリア）/[33] MTEX（ポルトガル）/[34] NoeCha（イタリア）/[35] REA Elektronik（ドイツ）/[36] Reggiani（イタリア）/[37] Robustelli（イタリア）/[38] SPGPrints（オランダ）/[39] swissQprint（スイス）/[40] Topjet（イタリア）/[41] Trojanlabel（デンマーク）/[42] Utecto（イタリア）/[43] Velox（イスラエル）/[44] Voxeljet（ドイツ）/[45] Xaar（英国）/[46] Xjet（イスラエル）/[47] Zimmer（オーストリア）	
③中国（18社）	
[1] ALLWIN（中国）/[2] Atexco（中国）/[3] Fei Yeung Union（中国）/[4] FLORA（中国）/[5] Fortune-lit（中国）/[6] Founder（中国）/[7] Gongzheng Group（中国）/[8] Hanglory（中国）/[9] Hope Ceramics（中国）/[10] JHF（中国）/[11] Human Digital（中国）/[12] Nuocai（中国）/[13] SKYJET（中国）/[14] Teckwin（中国）/[15] Wit-Color（中国）/[16] Wonderjet（中国）/[17] XSJ（中国）/[18] XULI（中国）	
④その他地域（10社）	
[1] Biporin（インドネシア）/[2] COLORJET（インド）/[3] DGI（韓国）/[4] Dilli（韓国）/[5] DyStar（シンガポール）/[6] ERAjet（香港）/[7] Inktec（韓国）/[8] Jetbest（台湾）/[9] KISCO（韓国）/[10] pigment.inc（オーストラリア）	
E-3. 産業用インクジェット関連メーカー一覧表（524社）	377
E-3-1. プリンタメーカー（317社）	377
E-3-2. インテグレーター（33社）	385
E-3-3. ヘッドメーカー（17社）	386
E-3-4. インク・分散体メーカー（参入分野一覧）（157社）	387

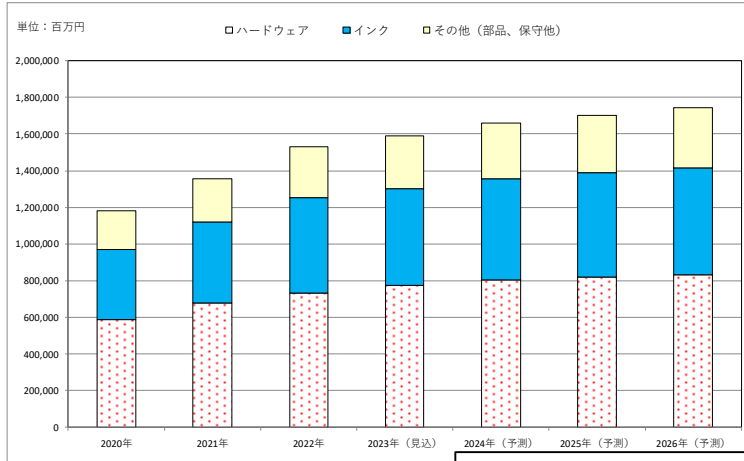
「分析編」より抜粋

※実際のレポートには実数が入っています。

A. 分析編

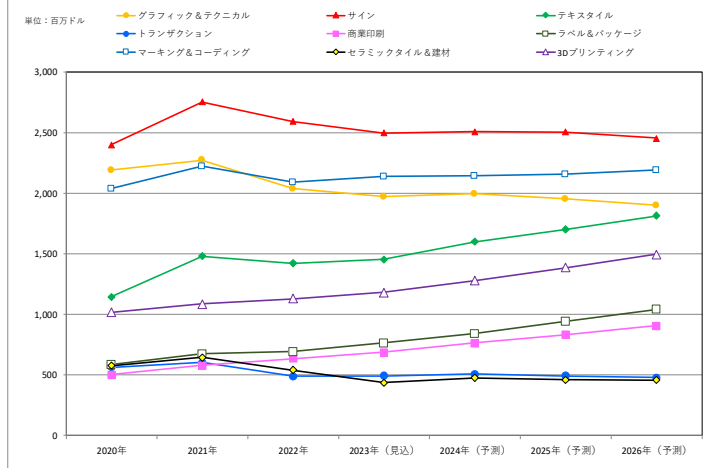
1. 産業用・商業用インクジェットの出荷金額動向（2020年～2026年）

- 1) 全体（ハードウェア、インク、その他）
- (1) 日本円ベース



	2020年		2021年		2022年		2023年(見)	
	対前年比	%	対前年比	%	対前年比	%	対前年比	%
ハードウェア								
インク								
その他(部品、保守他)								
合計								

(2) 米ドルベース



	2020年		2021年		2022年		2023年(見込)		2024年(予測)		2025年(予測)		2026年(予測)	
	対前年比	%	対前年比	%	対前年比	%	対前年比	%	対前年比	%	対前年比	%	対前年比	%
グラフィック&テクニカル														
サイン														
テキスタイル														
トランparenション														
商業印刷														
ラベル&パッケージ														
マーケティング&コーディング														
セラミックタイル&建材														
3Dプリンティング														
合計														

「分析編」より抜粋

3) 各市場における地域別需要比率

	全世界需要 (2022年)	日本	北米	欧州	中国	その他
グラフィック& テクニカル	13-15 億㎡	10%前後	30-35%	20-25%	10-15%	20-25%
サイン	45 億㎡	4-5%	15-20%	15-20%	40-45%	20%前後
テキスタイル (捺染)	40-45 億㎡	1-2%	ほぼなし	35%前後	35%前後	25-30%
テキスタイル (DTG&DTF)	3-4 億枚	1-2%	40-45%	20%前後	20%前後	15%前後
トランザクション	2,500 億枚/ A4 換算	3-4%	40-45%	20-25%	10-15%	20%前後
商業印刷	800 億枚/ A4 換算	1-2%	50-55%	30-35%	1-2%	10%前後

ラベル	3 億㎡	1%
段ボール	14 億㎡	1%
マーキング& コーディング	2,750 億円	3%
セラミックタイル	50-60 億㎡	
3D プリンティング	累計 2-3 万台	2%

各市場におけるインクジェットの地域別需要比率は、多くの市場で北米が最大の生産需要地域である。中国はサイン、テキスタイル（捺染）、欧州はテキスタイル（捺染）、ラベル、日本はグラフィック&テクニカル以外

2. 印刷市場におけるデジタル VS アナログ

1) 生産技術の比較

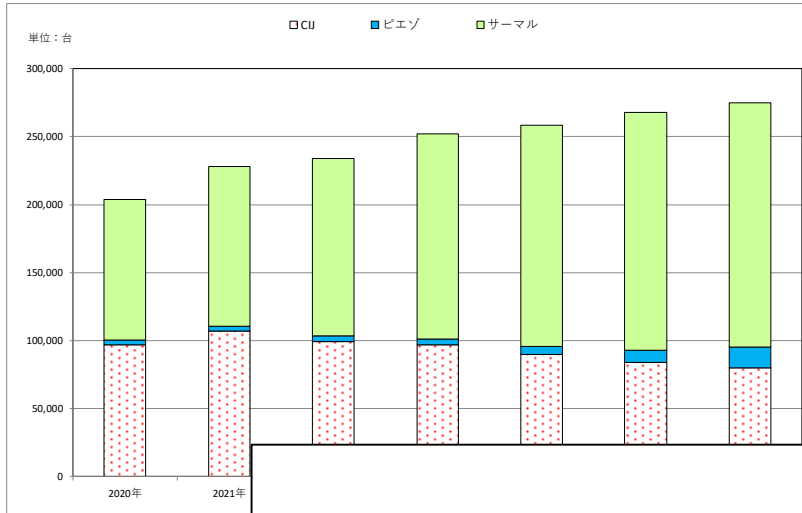
	デジタル	アナログ
グラフィック& テクニカル	インクジェット 電子写真（乾式トナー）	オフセット印刷
サイン	インクジェット	手書き、カット&シール、 シルクスクリーン印刷
テキスタイル	インクジェット 電子写真（トナー転写）	ハンド、オートフラット、 ロータリースクリーン、 走行式スクリーン
トランザクション	インクジェット 電子写真（乾式トナー）	高速大量可変の情報処理分野であるトランザクション市場はデジタルならではの印刷分野である。アナログ印刷はロゴ、罫線、説明文などの台紙部分を印刷する場合に使用される。
商業印刷	インクジェット 電子写真（液体トナー） 電子写真（乾式トナー）	オフセット印刷
ラベル	インクジェット 電子写真（液体トナー） 電子写真（乾式トナー）	欧米はフレキソ印刷 日本・アジアはグラビア印刷
軟包装	インクジェット 電子写真（液体トナー）	欧米はフレキソ印刷 日本・アジアはグラビア印刷
段ボール	インクジェット	フレキソ印刷
紙器	インクジェット	オフセット印刷、フレキソ印刷
マーキング& コーディング	インクジェット 熱転写（リボンサーマル） レーザーマーカ	ホットスタンプ、ローラーコーダー
セラミックタイル& 建材	インクジェット	フレキソ印刷 ロータリースクリーン
3D プリンティング	インクジェット 材料押出法など各種	鋳造、射出成型、切削

「市場編」より抜粋

※実際のレポートには実数が入っています。

5. ハードウェアの種類別出荷動向 (CIJ/DOD、2020年～2026年)

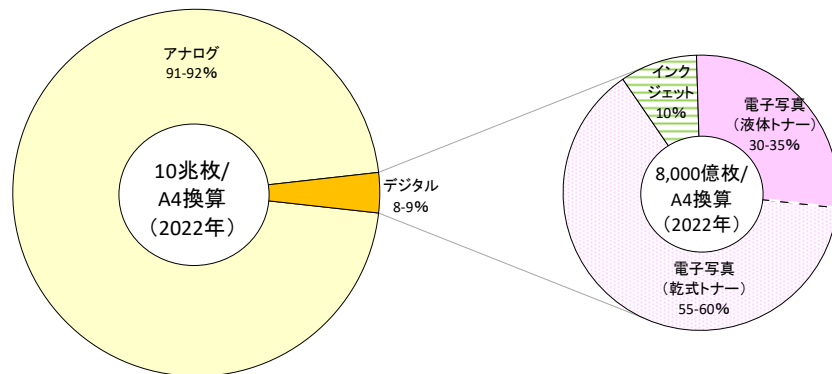
1) 出荷台数



		2020年	
			%
CIJ	対前年比		
	対前年比		
	対前年比		
ピエゾ	対前年比		
	対前年比		
	対前年比		
サーマル	対前年比		
	対前年比		
	対前年比		
DOD 計			
合計			

※CIJ:Continuous Inkjet, DOD:Drop On Demand

2. 市場概要 (デジタル化率とインクジェット化率)



・アナログ印刷を含む商業印刷市場は、そのインキ消費量などにより A4 換算で年 10 兆枚の巨大市場と推定されている。同市場自体は頭打ちとなっているが、デジタル印刷については成長が続いている (2022 年のデジタル化率 8.9%、A4 換算で 8,000 億枚)。

・デジタル印刷の技術としては、電子写真方式 (乾式トナー及び液体トナー) が先行しており、後発のインクジェット方式はデジタル全体の 10% 程度を占めている。

・電子写真方式では、複写機メーカーの乾式トナー機 (POD 機) がライトからミッドボリューム領域を中心にラインアップを拡充して、いち早く少量多品種ニーズの取り込みに成功。これにより、デジタル全体の 55-60% を占める状況となっている。乾式トナー機は生産性の点で限界があるため、今後の成長が見込めないとの見方もある一方、技術的には最も完成しており、オペレーターのスキルを不要とする点などで市場ニーズは底堅いとする意見もある。

・HP の液体トナー機は高速対応、高画質、広幅対応などの技術で頭出し、より印刷ボリュームの見込めるヘビープロダクション領域への進出を進めてきた。ただ、本体出荷は頭打ちとなっているため、中古機などの販売を広げていくことで稼働台数を拡大し、印刷ボリュームの増加を目指している。

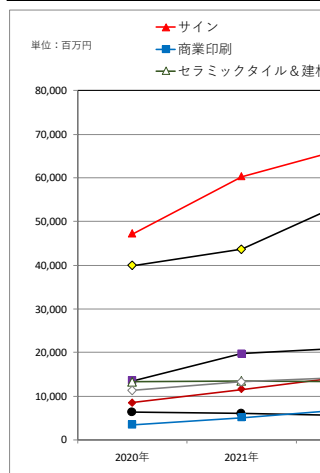
・インクジェットは、画質の向上とオフセット用紙対応力の向上に伴い、出版印刷や DM など の分野で導入が進んでいる。HP のみが展開する液体トナー方式と異なり、複数社が参入しているインクジェットにおいては、連帳機に加え、B1 から B3 サイズまでの枚葉機がラインアップされるなど顧客ニーズに対応する製品開発競争が活発化している。そして、ここ数年でインクジェットの印刷品質は大きく向上したと評価されており、欧米市場を中心に本格的な導入期に突入したと言ってよい状況である。

「市場編」 「インクジェットヘッド市場編」 より抜粋

※実際のレポートには実数が入っています。

2) 市場別出荷金額の推移 (2020年～2026年)

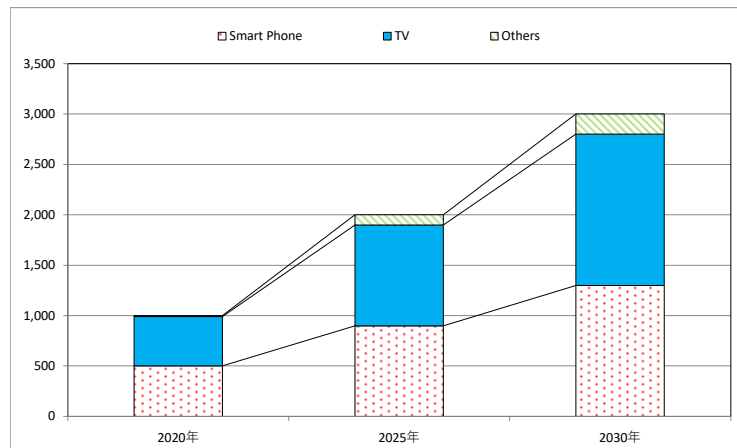
	2020年		2021年		2022年		2023年 (見込)		2024年 (予測)		2025年 (予測)		2026年 (予測)		CAGR (22年/26年)
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	
サイン															
テキスタイル															
トランザクション															
商業印刷															
ラベル&パッケージ															
マーキング&コーディング															
セラミックタイル &建材															
その他															
合計															



向膜の形成、③スぺーサーの塗布などの分野で、これまでインクジェット技術の導入を目指す動きがあった。②や③については一定の実用化も進んだが、コア部分である①への実用化には結果的に失敗した。技術的なハードルを越えられなかったことや、LCD 自体の価格暴落などもあり、ビジネスとしての継続が難しくなった側面があるとみられている。

これに対して、今後のディスプレイ市場においてもっとも成長が期待されているのは有機 EL (OLED) である。OLED は 2020 年では 1,000 万平方メートル (推定) の需要規模に過ぎないが、2025 年には 2 倍の 2,000 万平方メートル、2030 年には 3,000 万平方メートルへ拡大すると期待されている (下記グラフ参照)。

単位：万平方メートル



OLED の需要面積推移 (2020/2025/2030 年)

OLED の用途としては、TV 用とスマートフォン用がその需要を二分している (2020 年実績でそれぞれ 500 万平方メートル前後)。前述の通り、新興国の人口増大などを理由に今後は両用途で大幅増が予測されるほか、その他 (ノート PC、タブレット PC、ゲーミング PC、その他の IT モニター) の用途でも OLED の需要が拡大していく見通しである。

OLED の製造方式としては、蒸着方式とインクジェット方式と大別され、現在は大型も小型も全て蒸着方式により生産されている。蒸着方式は高精細・高画素密度の OLED を製造可能な方式として技術が確立されているが、巨大な蒸着装置 (キヤノントッキが世界トップシェア) と実際の製造にはメタルマスク (大日本印刷が独占的に供給) と呼ばれる部材が必要となるなど導入・運用コストが莫大なものになるというデメリットも指摘されてきた。

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

刊行日・価格の
変更があります

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204
E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2023年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

※セット価格は日本語版+英語版

	①日本語版		②英語版		セット ①+②	部数	金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)		
《定期刊行物》							
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート (1986年～) 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 (PDF版) 月会費：¥60,000 (PDF版)	毎月 20日	\$7,000 (PDF版) \$600 (PDF版)	毎月末	¥800,000		
i4inkjet [Directions] (年6回発行、年300頁～) ※インクジェット関連の特許技術レポート	—	—	¥550,000～ (PDF版)	2021年 7/27～			
《2023年刊行予定物》							
* 2023年版[感光体マーケット総覧] (272頁) 『変化の時代に真価が問われる 感光体市場の総合分析』	¥500,000 (PDF版)	2/22	\$5,200 (PDF版)	4/21	¥700,000	日 英	
* 2023年版[ローラー系部品マーケット総覧] (385頁) 『価格上昇時代に突入した部品業界の総合分析』	¥400,000 (PDF版)	4/25	\$5,000 (PDF版)	注文対応		日 英	
* 2023年版[トナーマーケット総覧] (587頁) 『環境配慮技術で生き残るトナー業界の 将来性分析』	¥600,000 (PDF版)	6/27	\$6,000 (PDF版)	7/28	¥700,000	日 英	
* 2023年版[中国市場(ハードウェア・消耗品)] 『中国企業の台頭により競争が激化する 中国市場の徹底分析』 (222頁)	¥300,000 (PDF版)	8/29	—	—			
* 2023年版[インクジェット印刷マーケット総覧] 『ものづくりのスマート化を切り拓く インクジェット業界の最新市場動向』 (389頁)	¥500,000 (PDF版)	10/27	\$5,000 (PDF版)	12/中 予定	¥700,000	日 英	
* 2023年版[MFPマーケット総覧]	¥600,000 (PDF版)	12/22 予定	—	—			
《その他の刊行物》							
* 2020年版[MIFマーケット総覧] (501頁) 『オフィス向け電子写真製品の設置台数と トナー量に関する長期予測』	¥400,000	2020年 9/28	\$4,000 (PDF版)	2020年 12/23		日 英	
* 2020年版 [緊急レポート (コロナショックと業界大規模再編)] (240頁) 『業界再編とコロナショックに揺れる 事務機業界の地域別メーカー別分析』	¥300,000	2020年 4/24	\$3,000 (PDF版)	2020年 6/19		日 英	
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500 (PDF版)	2014年 10/31		日 英	